# 魂 Soul — 身体 Self

# そして 光

Motai Toshiya

# 母袋 俊也

《TA・GEMBAKZU》
《ta・KK・ei》

《ta・KK・ei study》(上)　アトリエ風景／母袋俊也 近影(下)

## 原爆の図 丸木美術館　2022年10月22日(土) – 2023年1月22日(日)

休館日：月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)・2022年12月29日(木)–2023年1月3日(火)　開館時間：9:00–17:00　2022年12月1日(木)–2023年2月28日(火) 9:30–16:30
観覧料：一般 900円／中高生または18歳未満600円／小学生400円 (比企・東松山在住者・チラシ持参は各通常料100円割引、障がい者は半額)／60歳以上800円

主催　原爆の図丸木美術館　　協力　株式会社FOVEA　　助成　公益財団法人 ポーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION　公益財団法人 花王 芸術・科学財団

母袋俊也は、絵画とは何かという問いを、画面にこめられた精神性と、「フォーマート」（縦横比）の形式の問題から理論的に探究し続けている美術家です。

東京造形大学を卒業後にドイツに留学した母袋は、日本の建築空間における障壁画や屏風が偶数の画面で連結していること、それに対して西洋の祭壇画は奇数の画面が連結し中心性を重視していることに気づきました。そうした形式をみずからの絵画制作の実践で検証する過程で、16世紀はじめにグリューネヴァルトが描いたイーゼンハイム祭壇画の《磔刑図》を参照しつつ、《ta･KK･ei》（1998）を制作します。

長い歳月をかけて、障壁画に着想を得た偶数の画面が連結する横長形式の〈TA〉系、西洋のイコンや仏教美術などの精神性を正方形の画面に構成した〈Qf〉系といった作品を展開し自身の絵画理論を深め続けてきた母袋は、近年、丸木美術館に通いながら、「原爆の図」の存在に深い関心を寄せるようになりました。母袋の構築する「フォーマート」の理論のなかで、「原爆の図」はどのように位置づけられるのでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症の流行が世界的に広がるなかで、母袋はグリューネヴァルトの《磔刑図》の抱えていた精神性にも注目します。この絵画は、当時流行病の治療を行う修道院に飾られ、病人たちの抱える痛みをキリストの痛みと重ねて昇華する役割を担っていました。現代における芸術の使命について考える母袋は、再び《ta･KK･ei》の連作を描きはじめ、そして現在は、原爆の図第3部《水》を基にした新作《TA･GEMBAKZU》に取り組んでいます。

“眼下を流れる都幾川を見下ろすように河岸段丘の上に建つ美術館は、ほんの少し大地より浮いた場に属し、はるか上方の聖なる場とは異なり、そこはとりわけ身体と魂の運動の磁場”である。――母袋はそのように丸木美術館という「場」を位置づけています。

本展は、2020年に再始動した《ta･KK･ei》連作と、《TA･GEMBAKZU》などを中心とし、プラン･ドローイング、《Himmel　Bild》、《ヤコブの梯子･枠窓》を展示空間に設置することで、コロナ･パンデミック、核の脅威や戦争に揺らぐ世界の現実を生きる私たちと、芸術とのかかわりを探るものとなるでしょう。

---

関連イベント

オープニングトーク
母袋俊也、岡村幸宣（当館専務理事･学芸員）、後藤秀聖（当館学芸員）
2022年10月22日（土）14:00~16:00

対談　「原爆の図」と母袋俊也の試みをめぐって
母袋俊也、沢山遼（美術批評家）
2022年11月20日（日）14:00～16:00

鼎談　いま、「原爆の図」が語りかけてくるものとは？
母袋俊也、水沢勉（神奈川県立近代美術館館長）、小沢節子（歴史家）
2023年1月14日（土）14:00~16:00

1.アトリエ風景　2.《プランドローイング ta･KK･ei 2022》
3.《ta･KK･ei 2022-1》　4.《ta･KK･ei study》制作のために
5.《展示構想プランドローイング》

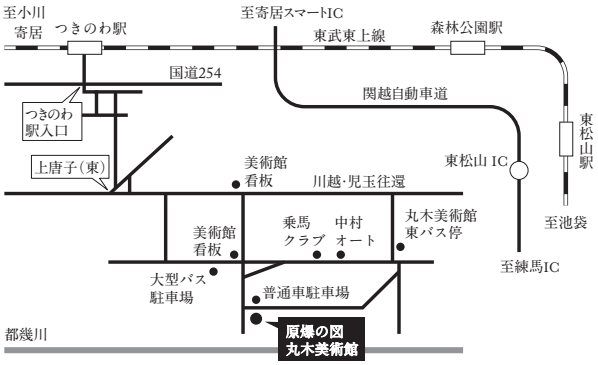
※画像は全て作家のアトリエにて（2022年）　Photo by Ali Uchida

---

## 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館
MARUKI GALLERY for THE HIROSHIMA PANELS

交通アクセス

・東武東上線「森林公園」駅南口よりタクシー約10分／徒歩約50分
・東武東上線「東松山」駅より市内循環バス唐子コース（日祝運休）約15分「丸木美術館東」下車徒歩約15分
・東武東上線「つきのわ」駅南口より徒歩約27分
・関越自動車道「東松山インター」より小川方面約10分
※詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい




| 市内循環バス時刻表（日祝運休） | |
|---|---|
| | 「東松山駅東口」発 「丸木美術館東」行<br>8:45、10:10、11:10、12:10、14:30、15:35 |
| | 「丸木美術館東」発 「東松山駅東口」行<br>10:42、11:42、12:42、15:02、16:07、17:32 |

問い合わせ: 原爆の図丸木美術館
355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
URL https://marukigallery.jp　Email info@marukigallery.jp
TEL 0493-22-3266　FAX 0493-24-8371

---

常 設 展 「原爆の図」連作、丸木スマ水彩画等
※本展開催にあわせ、当館2階アートスペースでは、母袋俊也が「原爆の図」に焦点をあて丸木位里･丸木俊の作品を選んで展示します。

このチラシを持参の方は入館料が100円割引になります